地域連携講座
発達障害への対応について

地域で診療に携わる医師の立場から

2020年度

埼玉県発達障害総合支援センター

ハロークリニック　院長　新井克己

HELLO CLINIC

発達障がい

発達障がいとは？

注意欠如多動性障がい（ADHD)と
自閉症スペクトラム（ASD)を中心に

発達障がいの症状は？

症状が目立つ子と目立たない子がいる

発達障がいの児童への支援は？

本人への理解と適切な対応

HELLO CLINIC

発達障がいとは？

HELLO CLINIC

障害とは？

- 「障害」とは、明治以降の言葉である。
- 英語では、defect,difficulty,disability,disfunction,disorder,disturbance,handicap,impedimentなどそれぞれ違う意味内容やニュアンスで使い分けられている諸概念に、日本語では一律にこの訳語があてはめられている。

発達障がいとは？

- 「発達障害」の原語は、“developmental disorder”で、disorderを「障害」と訳したものである。
- “order“とは、隊列を整えた兵士の集まりを指す言葉が語源で、①「順序」「秩序」「整頓」②「等級」「数字の桁」③「命令」「注文」などを指す言葉である。
- “disorder”は「orderから外れた状態」を指す。

発達障がいとは？

dis-order

order＝整った順序や秩序、注文

dis-order＝整った順序や秩序から外れている状態、注文と違う

語源的には「異常」や「病的」の意味はない。誰が作った順序や秩序か？誰の注文か？

発達障がいとは？

- 「正常発達」とは？

　その社会の文化のあり方次第で精神発達のあり方は、多彩なバリエーションをとるため、子供は本来（正しくは）こう育つものという「正常発達」は存在しない。

- 「異常発達」とは？

　「正常発達」は存在しないため、「異常発達」も存在しない。

発達障がいとは？

- 「定型発達」とは？

　その時代と社会の中で、そこで最も一般的な養育形態を通して育った子供たちをたくさん集めてその平均的なパターンをとったものを「定型発達」と呼ぶ

　精神発達に普遍的な決定版は存在しないため、異常も存在しない

発達障がいとは？

- 「発達障害」とは？

　「定型発達」に合致していない状態を「発達障害」と呼ぶ。

　「定型発達」に正解がないため、「発達障害」にも正解はない。

成長期の分類（出生後）

新生児期 → 乳児期 → 幼児期 → 学童期 → 思春期

成長期の分類（出生後）

- 新生児期（出生後4週未満）
  体外への環境変化に適応する時期
- 乳児期（出生～1歳未満）
- 幼児期（1～6歳未満）
- 学童期（6～12歳）
- 思春期（第二次性徴の開始～骨端線の閉鎖）
  思春期の発来は女子では平均10歳（乳頭の突出）、男子では平均10．8歳（精巣容量3ml以上）。
  骨端性の閉鎖は、女子；18歳、男子；20歳

発達障がいとは？

自閉症、アスペルガー症候群とその他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥・多動性障がい、その他これ類する脳機能の障がいであって、その症状が通常低年齢において発現するもの

発達障害者支援法より

（平成17年4月1日施行）

HELLO CLINIC

発達障がいとは？

発達の途中で明らかになる行動やコミュニケーション、社会活動上の障害で根本的な治療法はないが、対応は可能な障がい

「みんなに知ってもらいたい発達障害」より

平岩幹男　著

診断と治療社

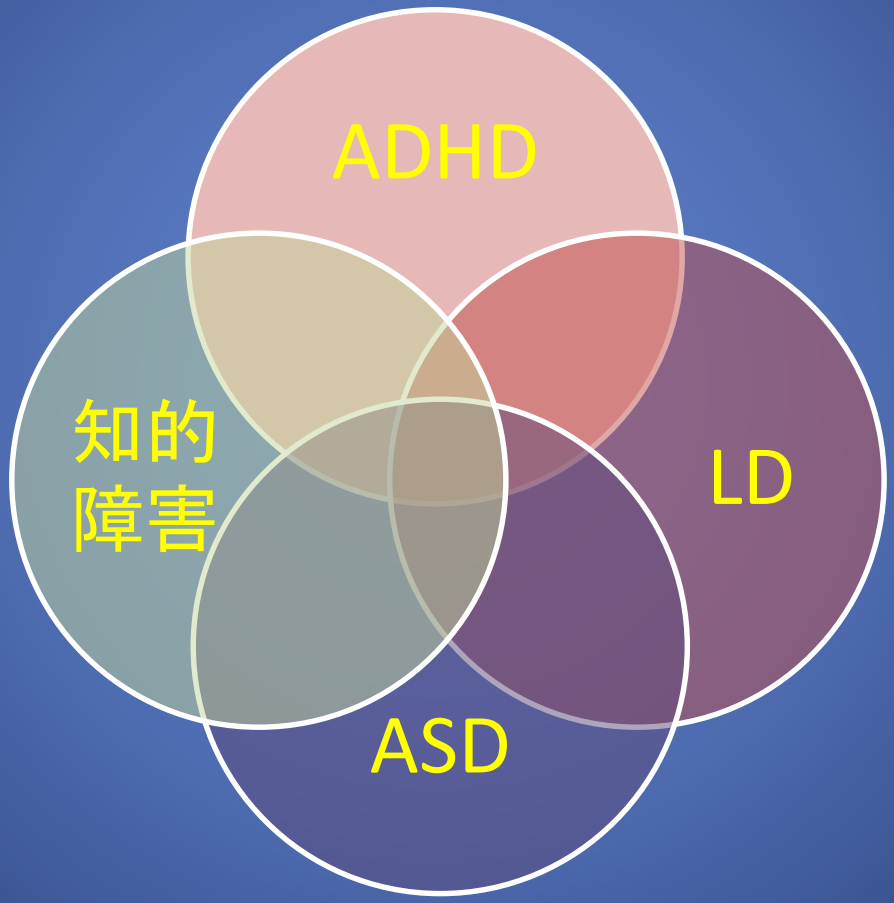
HELLO CLINIC

発達障がいとは？

注意欠如多動性障害がい
（Attention-Deficit/Hyperactiviy Disorder:ADHD）
学習障がい（Learning Disabilitis:LD）
自閉症スペクトラム
（Autism-Spectrum Disorder:ASD）
高機能自閉症、アスペルガー症候群等
社会性コミュニケーション障がい
こだわり行動のみられないASD

HELLO CLINIC

発達障がい



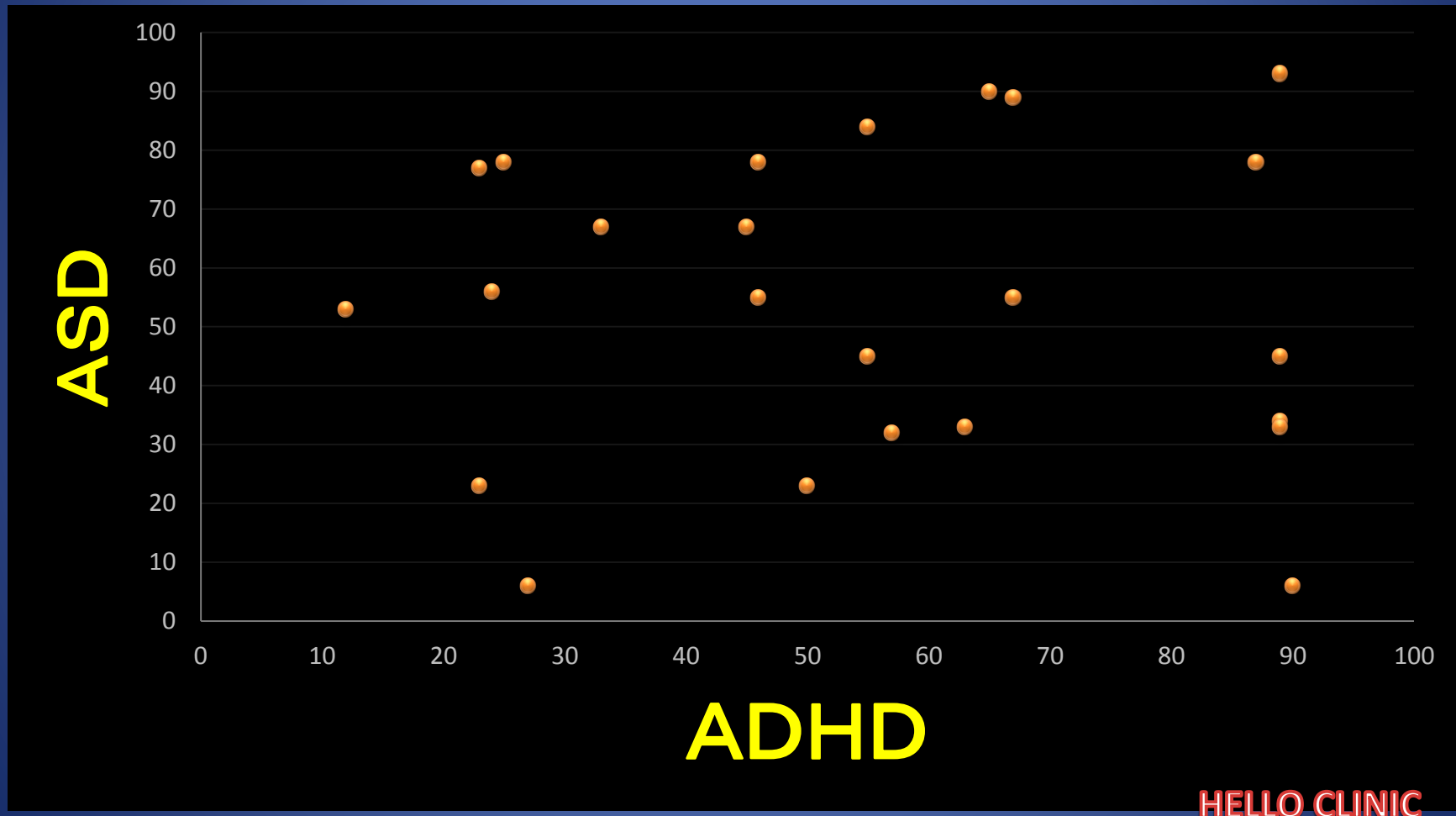
HELLO CLINIC

発達障がい

- 注意欠如多動性障がいの30～70%自閉症スペクトラムが合併している
- 自閉症スペクトラムの20～50%に注意欠如多動性障がいが合併している

HELLO CLINIC

発達障がい



ADHDとは？

- 成人期ADHDのチェックリスト

1.物事を行うにあたって、難所は乗り越えたのに、詰めが甘くて仕上げるのが困難だったことがある

2.計画性を要する作業を行う際に、作業を順序だてるのが困難だったことがある

3.約束や、しなければならない用事を忘れたことがある

4.じっくりと考える必要のある課題に取り掛かるの避けたり、遅らせたりすることがある

5.長時間座っていなければならない時に、手足をそわそわ動かしたり、もぞもぞしたりすることがある

6.まるで何かに駆り立てられるように過度に活動的になったり、何かせずにいられなくなることがある

HELLO CLINIC

ADHDとは？

- 物事を途中で断念したことがある
- 物事が計画どおりにできなかったことがある
- 約束をすっぽかしたことがある
- 苦手なことを後回しにしたことがある
- 会議の途中でうわの空になったことがある
- 衝動買いをしたことがある

発達障がいの特徴

“発見されにくい”、“認知されにくい”、“理解されにくい”

早期介入による適切な医療や療育が必要

適切な“手助け”をしてあげることで“明るい”社会生活を送ることは可能

適切な“手助け”がないと“不登校”、“引きこもり”、“素行不良”等の症状が出現する可能性がある

注意欠如多動性障がい（ADHD）

HELLO CLINIC

注意欠如多動性障がい（ADHD）

注意欠如の症状あるいは多動性・衝動性の症状どちらか、あるいは両方の症状が少なくとも6か月以上続いたことがあり（その程度は不適応的で、発達の水準に相応しないもの）、12歳未満からこの症状が複数の環境（状況）で認められ、明らかに社会的困難さを引き起こしている場合である。（DSMⅤより）

HELLO CLINIC

注意欠如多動性障がい（ADHD）

注意欠如の症状とは、興味のないものに注意を向けることができないことを指します。
例えば、物事の計画がうまくできない、忘れ物が多い、片づけられない、ケアレスミスが多い、提出物を期限までに提出できない、大事なものも無くしてしまう、気が散りやすい、「話を聞いてる？」と相手に念を押される、宿題になかなか取り組めない等の症状がみられます

HELLO CLINIC

注意欠如多動性障がい（ADHD）

多動の症状は、知的発達に相応しない落ちつきのなさを示します。
例えば、手悪さが多い、離席してしまうことが多い、静かにじっとしていられない、おしゃべりが多い等の症状がみられます。

注意欠如多動性障がい（ADHD）

衝動性の症状とは、“考えなし”に行動してしまい、そのため本人と周囲が困ってしまう状況と言えます。つまり、ADHDの児童は、自分の行動が悪い（倫理的に悪いことや自分に不利益を及ぼす）ことは、十分理解しています。しかし、その行動が悪いことであると判断し終えたときには、すでに遅く、悪い行動をしてしまっているのです。

例えば、順番が待てず横入りをする、物を壊してしまう、他人の邪魔をする等の症状がみられます。

注意欠如多動性障がい（ADHD）

男女比は3～4：1で男性に多い
有病率は小児で5～10%、成人で2～3%
原因は不明
遺伝様式は不明ですが、遺伝的要素があり、
両親・同胞・子供等に注意欠如多動性障害の
症状や傾向がみられることが多い

HELLO CLINIC

注意欠如多動性障がい（ADHD）

小学校では、1クラスに一人は注意欠如多動性障がい（ADHD）の児童がいることになり、小児においてADHDは決して珍しい病気ではありません。ADHDは、“障害”と言うより、“性格傾向”と呼んだ方が良いと思われ、通常の日常生活を過ごしている人の中にも軽度のADHDの症状を有する人が存在する可能性があります。

HELLO CLINIC

注意欠如多動性障がい（ADHD）

注意欠如多動性障がいの症状がみられても全例が治療対象にはなりません。
注意欠如多動性障がいの症状があるために患者周囲が困っている状況にあり、そのため患者本人も生活しにくい状態がある場合に医療の対象になります。

HELLO CLINIC

注意欠如多動性障がい（ADHD）

注意欠陥多動性障がいの治療（1）

① 環境整備

患者周囲のADHDへの理解

（患者本人の自覚、ADHDへの理解）

② 心理療法

心理カウンセリング、認知行動療法、

ペアレントトレーニング等

注意欠如多動性障がい（ADHD）

注意欠陥多動性障がいの治療（2）

③　薬物療法

アトモキセチン（ストラテラ）

メチルフェニデート（コンサータ）

グアンファシン塩酸塩(インチュニブ）

他の薬剤として、抑肝散、リスペリドン、アリピプラゾール等を用いることもあります。

自閉症スペクトラム

HELLO CLINIC

自閉症スペクトラム

名称の変遷

自閉症

アスペルガー症候群

広汎性発達障がい

自閉症スペクトラム

HELLO CLINIC

自閉症スペクトラム

①社会的相互反応における質的な障害
②意思伝達の質的な障害
③反復的で常同的な行動、興味（こだわり行動）と定義されます。
高機能自閉症やアスペルガー症候群とは、「精神遅滞がない」すなわち、IQ＞70の自閉症のことを指します。

HELLO CLINIC

自閉症スペクトラム

実際には、①人間に対する興味が少ない、②こだわりが強い、③その場の空気が読めない（KY）、④予定変更やアドリブに弱いのが特徴です。
例えば、視線が合わずアイコンタクトができない、相手の感情が理解できず知らないうちに傷つけてしまう、一定の事へのこだわりが強くクリアできないと次の行動ができない、急な予定変更でパニックを起こす等の症状がみられます。

HELLO CLINIC

自閉症スペクトラム

男女比は2～3：1で男性に多い
有病率は小児で1～3％
原因は不明
遺伝様式は不明ですが、遺伝的要素があり、
両親・同胞・子供等に自閉症スペクトラムの
症状や傾向がみられることが多い

HELLO CLINIC

自閉症スペクトラム

一学年に1～2人は自閉症スペクトラム（ASD）の児童がいることになり、ASDは決して珍しい病気ではありません。
ASDも“障害”と言うより、“性格傾向”と呼んだ方が良いと思われ、通常の日常生活を過ごしている人の中にも軽度のASDの症状を有する人が存在する可能性があります。

HELLO CLINIC

自閉症スペクトラム

自閉症スペクトラムの症状がみられても全例が治療対象にはなりません。
自閉症スペクトラムの症状があるために患者周囲が困っている状況にあり、そのため患者本人も生活しにくい状態がある場合に医療の対象になります。

HELLO CLINIC

自閉症スペクトラム

自閉症スペクトラムの治療（1）

① 環境整備

患者周囲のASDへの理解

（患者本人の自覚、ASDへの理解）

② 心理療法

心理カウンセリング、認知行動療法、

ペアレントトレーニング等

自閉症スペクトラム

自閉症スペクトラムの治療（2）

③　薬物療法

リスペリドン(リスパダール）

アリピプラゾール（エビリファイ）

他によく使用される薬としては以下のようなものがあります。

抑肝散、アトモキセチン、メチルフェニデート、

オキシトシン等

HELLO CLINIC

学習障害

学習障害

- 学習障害とは、Learning disabilities(LD)の日本語訳である
- 知的には正常範囲である
- 努力しても読むこと、書くこと、計算することなどのある特定の能力を身につけることが困難あるいは不可能
- 中枢神経系の器質的異常はない

学習障害

- 読字障害
- 書字障害
- 算数計算障害
- 上記の混合性障害

学習障害

- 頻度は日本では１～２%、英語圏では５～１０%
- LDの中心的な症状は、読字困難（ディスレキシア）である
- 読字障害には書字障害がほとんどの場合、合併する
- 算数障害は、数の理解や数の操作が困難な場合であるが、比較的少ない

学習障害

- LDは、先天的な発達障害であり、成長に伴って完治することはない
- どのレベルで読み書きの学習が障害されているかをはっきりさせ、本人の得意な面からのアプローチを使うなどの学習法の工夫が必要である
- やみくもに練習させてもかえって自信を失うだけで逆効果である

学習障害

- 症状によっては、パソコンのワープロ機能や計算機の練習を積極的に取り入れる必要がある
- 筆記試験に全く対応できなくても、問題文を読み聞かせすることで回答が可能なことがある
- 勉強以外のことで好きなことや得意なことをみいだし、その能力を伸ばす必要もある

学習障害

- 典型的なLDは、幼児期には特別な特徴がない
- ADHDや自閉症スペクトラムを合併する場合は、その症状が幼児期に目立つことが多い
- LDは、学習の始まる小学校入学後に症状が明らかになることが多い
- 平仮名の読みは、一文字ずつは読めても単語になると読めないことが多い

学習障害

- 「きゃ」や「しゅ」のような拗音や「カッパ」や「バット」などの促音が読めないことが多い
- 「ぬ」と「め」、「は」と「ほ」などが間違えやすい
- トレーニングで平仮名は読めるようになるが、カタカナは困難なことが多い
- 読みの能力を獲得しても漢字を書くことが難しいことも多い
- LDの症状は、本人が怠けていて生じたものではないという本人と周囲の理解が必要

発達障がいの症状は？

HELLO CLINIC

発達障がいの症状は？

発達障害がいの症例には、症状が目立つ症例と症状が目立たない症例がある。
症状が目立たない症例の中には、思春期や成人になってから、初めて生活面で問題が生じてくることも多い。

発達障がいの症状は？

目立つ症状

過剰な行動；多動、衝動、乱暴、奇声をあげる等

できない行動；言葉が出ない、着替えができない、
片づけられない、集団行動ができない、
忘れ物が多い等

過剰な行動は幼稚園や学校等の教育者が問題にすることが多く、できない行動は保護者が問題にすることが多い。

HELLO CLINIC

発達障がいの症状は？

高機能自閉症、ADHDのうち多動症状が目立たないタイプ（女児に多い）、学習障がい等は症状が発見されずに経過することが多い。これらのうち、思春期や成人になってから、問題が発生してくる（不登校、就職できない、うつ病や不安神経症等の合併症の発症等）こともある。

HELLO CLINIC

発達障がいの児童への支援は？

HELLO CLINIC

発達障害がいの児童への支援

発達障害の児童への支援の目標

①自分に自信のもてる子に育てる

②社会で生きていける子に育てる

HELLO CLINIC

発達障がいの児童への支援

自分に自信のもてる子に育てるため

- 発達障がいがあっても“ひとりの人間”として認めてあげることが大切
- ”成功体験“を増やすことが大切
- 叱ることより“褒めること”が大切
- できないことを嘆くより、“できたこと”を認めてあげることが大切

HELLO CLINIC

発達障がいの児童への支援

社会で生きていける子に育てるため

“生活習慣”を身につけることが大切

早寝・早起き・朝ごはん、挨拶等

“社会のルール”を身につけることが大切

お金の大切さ、交通規則等

社会のルールを破った時の“罪の大きさ”を教えることが大切

HELLO CLINIC

発達障がいの児童への支援

- 「適切な行動（やってほしいこと）」は、できたら“すぐ”“みんなの前で”褒める。
- 「不適切な行動（やってほしくないこと）」は、“無視する”“やり直させる”。
- パニックを起こした時は、“放置する”。落ち着いたら“言い分(理由）を聞く”。
- 危険な行為は、その場で“すぐ”“注意する”。

HELLO CLINIC

まとめ

- 発達障がいは病気ではない。
- 発達障がいがあっても適切な対応をすることで将来“明るい社会生活”を送ることができる。
- 発達障がいの児童に対して、適切な対応がないと“不登校”、“引きこもり”、“素行障害”等の二次障害が起こってしまう。
- 発達障がいの児童の目標は、“自分に自信のもてる子”“社会で生きていける子”になることです。

・発達障がいと決めつけず、本人の長所をみつけることが大事です。

HELLO CLINIC

ご清聴ありがとうございました

HELLO CLINIC